

(読み書き困難疑似体験小冊子配布紹介記事)

東京新聞 茨城版

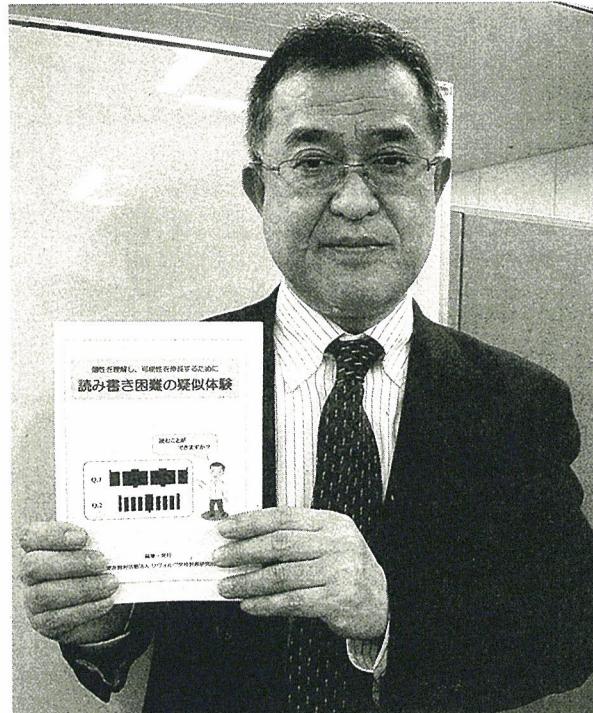
2011.2.18掲載

茨城

力タカナなど読み書き困難

学習障害（LD）の特徴の一つで、文字の読み書きが困難な子どもたちへの理解を深めてもらおうと、NPO法人「リヴォルヴ学校教育研究所」（つくば市）は、障害の特徴や指導法などをまとめた冊子「個性を理解し、可能性を伸長するためにー読み書き困難の疑似体験」を製作した。四月から県内の市町村教育委員会に無料で配布し、一般向けても無料で提供する。

（中津芳子）



つくばのNPO 冊子製作

県内教委、一般に無料配布

同法人は、二〇〇〇年からつくば市で不登校の児童生徒を支援する学校「ライズ学園」を運営。理事長の小野村哲さん（五〇）は元中学教諭で、文字の読み書きが困難な子どもたちが多く見てきた。LDに対する周囲の理解が低いため、子どもたちが誤解され、自信を失いややすい状況にあると指摘。「子どもたちはサポートすれば、別人のように変わる」と小野村さんは話す。

読み書きが困難な子どもたちの理解のために作られた冊子と小野村さん＝県庁で

56)8143-8。

（中津芳子）

年からつくば市で不登校の児童生徒を支援する学校「ライズ学園」を運営。理事長の小野村哲さんは、元中学教諭で、文字の読み書きが困難な子どもたちが多く見てきた。LDに対する周囲の理解が低いため、子どもたちが誤解され、自信を失いややすい状況にあると指摘。「子どもたちはサポートすれば、別人のように変わる」と小野村さんは話す。

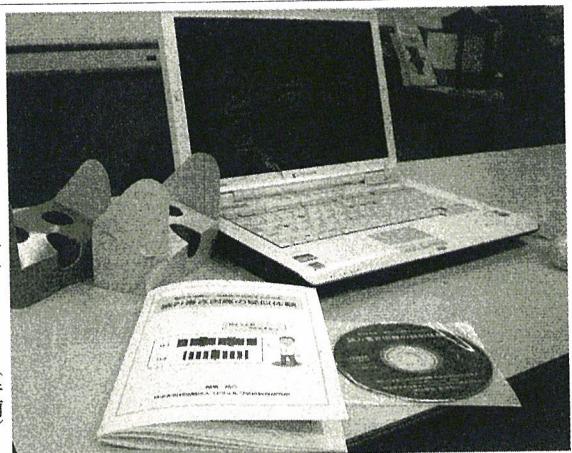
（中津芳子）

左が混乱し、鏡文字になってしまふ△カタカナが読めない△など二十三項目に分類。そ

の上で△文字のどこを見ればいいのか具体的に示す△子どもをせかさず、試行錯誤を尊重する△など子どもの目線の指導法を解説して

いる。問い合わせは同研究所＝電029(8

難読症 理解広めよう



冊子とDVD作成

つくばのNPO 実践成果

対処法を説明した冊子555部とDVD2000枚を作成した。全国の教育委員会にすでに郵送し、県内の全小中学校にも無料で配布する予定。

読み書きが困難な学習障害「ディスレクシア（難読症）」への理解を広めようと、NPO法人リヴァルヴ学校教育研究所（つくば市）がディスレクシアの特徴や対処法を説明した冊子「550部とDVD2000枚を作成した。全国の教育委

教諭の小野村哲理事長(50)が現役時代に生徒の獨特な障害に気づき、その後、26年にわたって研究を重ねた実

の遅れはないのに授業
まずき、本人の努力不
能力不足と誤った見方
れるケースも多い。

茨進並木中等81名、葛溪中38名
江戸取中23名、茨城中43名
滋賀中、海城中、市川中にも合格

践教育の成果をまとめた。小野村理事長によると、ディスレクシアは文字を正確に認識できず、読み書きが不自由な学習障害の一種。アルファベットの「b」と「d」を混同したり、音の聞き分けに苦労したりするものが特徴だという。知的の認知度が低く、本来の能

冊子では、ディスレクシ

アの特徴や、指導にあたつた生徒の実例を紹介。障害の疑似体験ができるイラストや文字を掲載し、読み書きができない理由をわかりやすく説明している。小野村理事長は「国内では障害の認知度が低く、本来の能

力を發揮できずに苦しんでいる人も多い。学校現場などで活用してほしい」と話している。

讀完新開
茨城版
2011.2.21 揭載

2011.2.21 掲載

日本經濟新聞 茨城版
2011.2.22掲載

2011.2.22 揭載

読み書き困難な子供を理解する
ソフトで疑似体験

ソフトで疑似体験

ソフトを盛り込んだCD-ROMを無償配布する。
係者が保護者に冊子と
ソフトを盛り込んだCD-ROMを無償配布する。
デリタを基に、読み書きが困難な子供の行動と実況をソフトに
盛り込んだ。子供への理 解支援に役立ててもらいたい。
学校に適応できなくて
供を支援する特定期間非常利

活動法人(NPO法人)のホームページ上で視聴できる。

学習障害の子供の視点を現した所茨城県つくば市は、読み書きが困難な子供の状況を疑似体験できるソフツウェアを作成した。学習障害書きを持つ子供への理解を深めるのが目的で、全国の学校や教育関係者が導入している。